

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-007

PDCA	事務事業名	アイプラザ半田管理運営事業		部課等名	市民経済部 観光課 観光担当		担当	中村
							内線等	327
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち						
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上						
		基本施策： 1. 行政運営						
		単位施策： (2) 市民サービスの向上						
	根拠法令等	個別施策： ②公共施設でのサービスの向上						
対象・目的	アイプラザ半田は、本市の観光拠点施設として民間事業者のノウハウを活用した指定管理者制度による管理運営を行う。多くの観光客に観光情報を発信するとともに、市民の教養・文化の向上、健康増進及びレクリエーションの場として、貸館事業を実施する。							
目的を達成するための手段・活動内容	民間事業者の柔軟な発想とノウハウを活用した指定管理者制度による管理・運営を行う。							
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位	
		①講堂利用回数		298	354	282	回	
		②小ホール利用回数		522	517	479	回	
		③会議室利用回数		5,891	5,938	5,431	回	
		事業費		53,287	55,444	54,477	千円	
		人件費		1,271	952	2,498	千円	
		総事業費		54,557	56,396	56,975	千円	
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位	
		①利用1回あたりの管理運営費		8,129	8,283	9,201	円/回	
	②							
	③							
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位	
		①全体利用者数	実績値	260,163	263,304	287,746	人	
			目標値	260,000	265,000	265,000		
		②使用料	実績値	1,500	1,389	1,558	万円	
目標値			1,350	1,450	1,450			
③		実績値						
	目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	
		A						
		観光客駐車場として、蔵のまち東駐車場の認知度が上がり、蔵のまち観光案内所（アイプラザ半田内）への観光立寄者数は増加した。前年に比べ公的なイベントによる貸館利用が減ったため、稼働率は減少したが、一般利用が増加したことで、施設使用料金については目標値を達成した。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進						
		今後は、観光立寄者数を増加させるため、物産コーナーの見直しやPR方法を工夫する。また、貸館の稼働率を向上させるため、貸館施設としての認知度を高めていく。令和元年度は、施設の安全性の確保、長寿命化、快適化のため、講堂天井耐震化、空調設備の全面更新、全館の照明設備のLED化を実施する。						
	令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位	
		①全体利用者数				145	千人	
		②使用料				815	万円	
	③稼働率				37	%		